



読書の秋～読書週間～

「読書の秋」とよく聞きますね。なぜ読書の秋と言われるのでしょうか。「暑い夏が終わって、読書に集中できるから」「夏のイベントが終わり、静かな季節だから」などが思い浮かびます。明治時代の終わりから大正初期に活躍した日本の文豪、夏目漱石も、暑い夏は読書に向いていないけれど、涼しくなった秋は読書をしやすくなる、と言っています。

秋は、夏よりも日が落ちた後の夜時間が長くなります。「読書の秋」ともよく言われますが、毎年10月27日から11月9日までは「読書週間」です。

読書について、少し気になる新聞記事がありましたので、紹介します。

『1日に全く本を読まない子どもは半数超一。ベネッセコーポレーション（岡山市）が2024年に小中高生や保護者に尋ねたところ、読書をしない（0分）との回答が52.7%で、15年調査時の34.8%から約1.5倍に増加。一方スマートフォンの使用時間は延びており、長いほど本を読む時間が短くなる傾向が見られた。（10.27熊日朝刊から）』

最近は、タブレットやスマートフォンでも、電子ブックを読むことができるので、一概に言えないかもしれませんが、本を読まない児童が増えているという調査結果はいろいろなところで報告されています。



御船小では、朝自習の時間を使って週3日「朝読書」に取り組んでいます。また、本年度も新しい本をたくさん購入しています。是非、ご家庭でも秋の読書に親しんでほしいと思います。



稲刈り体験 5年生



10月24日（金）午後、5年生が、稲刈りを行いました。6月25日に田植えをし、122日が過ぎたそうです。米の価格が高騰し、米のありがたさを感じずにはいられない昨今ですが、田植えからその後の管理まで横山様にお世話いただきました。ありがとうございました。

